

新春に斯く迎へよ

縣當局指示の實施方法

富澤檢事

白轉車泥

現金出納の増大

都心に近き保健境

愈よなか四日の目前に迫る

來る元旦の祝賀、既ては

昨報の如く一切の虚偽的行

事を廢し、事變下に迎ふる

元千六百年の嚴肅なる

意義を體得し皇室の聖徳を

欽仰し聖壽の無窮を詣ぎ奉

ると共に愈々忠誠報國の精

神を昂め皇運扶翼の質を舉

け新東亞の建設に邁進すべ

き國民の覺悟を神明に誓

ふ當局の趣旨に基き其間

遺漏無きを期することとな

つたが此際お互の迎春心得

としては大体昨紙列記の外

縣の實施方法として次の各

項が示され

(一) 各家庭に於ては早旦

最寄神社に參拜すること

(二) 當日午前九時を期し

「國民奉祝の時間」を設定

し各家庭其の他の場所に

於て夫々宮城道並萬歳同

奉唱を行ふこと市に於て

は「サイン」を以て周る

十五年度春肥の各町村割當

は二十六日開かれ、經濟更生

委員會會肥科統制部會で決

定されかが平市九十七貢三

百九十勿、石城郡九百六十二

貫九百三十勿である

配給方法は縣が肥料購入

券を發行し一月乃至三月

四五月、六七月の三期に

分り交付、市町村で一部

落別戸數別に割當數を決

定の上各農會に通知し購入券をさせ、配給の適正を期

本炭は各自が作れ

農家の自家用木炭は各自の手で作るやうな

三郡木炭同業組合佐藤指導員を講師として

明年一月五日から一週間上平窯、中塙の兩

部落で木炭製法講習會を開き今後ドシ

獎勵することになつた

市農會で製法傳授

知す爲ラヂオは同時刻に福田貞義氏推薦及び赤井村

日曹鐵業所で新村右一郎氏

雄氏は今回富山地方檢事

が代表で市費に百二十四

紀元二千六百年の嚴肅なる

意義を體得し皇室の聖徳を

欽仰し聖壽の無窮を詣ぎ奉

ると共に愈々忠誠報國の精

神を昂め皇運扶翼の質を舉

け新東亞の建設に邁進すべ

き國民の覺悟を神明に誓

ふ當局の趣旨に基き其間

遺漏無きを期することとな

つたが此際お互の迎春心得

としては大体昨紙列記の外

縣の實施方法として次の各

項が示され

(一) 各家庭に於ては早旦

最寄神社に參拜すること

(二) 當日午前九時を期し

「國民奉祝の時間」を設定

し各家庭其の他の場所に

於て夫々宮城道並萬歳同

奉唱を行ふこと市に於て

は「サイン」を以て周る

十五年度春肥の各町村割當

は二十六日開かれ、經濟更生

委員會會肥科統制部會で決

定されかが平市九十七貢三

百九十勿、石城郡九百六十二

貫九百三十勿である

配給方法は縣が肥料購入

券を發行し一月乃至三月

四五月、六七月の三期に

分り交付、市町村で一部

落別戸數別に割當數を決

定の上各農會に通知し購入券をさせ、配給の適正を期

本炭は各自が作れ

農家の自家用木炭は各自の手で作るやうな

三郡木炭同業組合佐藤指導員を講師として

明年一月五日から一週間上平窯、中塙の兩

部落で木炭製法講習會を開き今後ドシ

獎勵することになつた

市農會で製法傳授

知す爲ラヂオは同時刻に福田貞義氏推薦及び赤井村

日曹鐵業所で新村右一郎氏

雄氏は今回富山地方檢事

が代表で市費に百二十四

紀元二千六百年の嚴肅なる

意義を體得し皇室の聖徳を

欽仰し聖壽の無窮を詣ぎ奉

ると共に愈々忠誠報國の精

神を昂め皇運扶翼の質を舉

け新東亞の建設に邁進すべ

き國民の覺悟を神明に誓

ふ當局の趣旨に基き其間

遺漏無きを期することとな

つたが此際お互の迎春心得

としては大体昨紙列記の外

縣の實施方法として次の各

項が示され

(一) 各家庭に於ては早旦

最寄神社に參拜すること

(二) 當日午前九時を期し

「國民奉祝の時間」を設定

し各家庭其の他の場所に

於て夫々宮城道並萬歳同

奉唱を行ふこと市に於て

は「サイン」を以て周る

十五年度春肥の各町村割當

は二十六日開かれ、經濟更生

委員會會肥科統制部會で決

定されかが平市九十七貢三

百九十勿、石城郡九百六十二

貫九百三十勿である

配給方法は縣が肥料購入

券を發行し一月乃至三月

四五月、六七月の三期に

分り交付、市町村で一部

落別戸數別に割當數を決

定の上各農會に通知し購入券をさせ、配給の適正を期

本炭は各自が作れ

農家の自家用木炭は各自の手で作るやうな

三郡木炭同業組合佐藤指導員を講師として

明年一月五日から一週間上平窯、中塙の兩

部落で木炭製法講習會を開き今後ドシ

獎勵することになつた

市農會で製法傳授

知す爲ラヂオは同時刻に福田貞義氏推薦及び赤井村

日曹鐵業所で新村右一郎氏

雄氏は今回富山地方檢事

が代表で市費に百二十四

紀元二千六百年の嚴肅なる

意義を體得し皇室の聖徳を

欽仰し聖壽の無窮を詣ぎ奉

ると共に愈々忠誠報國の精

神を昂め皇運扶翼の質を舉

け新東亞の建設に邁進すべ

き國民の覺悟を神明に誓

ふ當局の趣旨に基き其間

遺漏無きを期することとな

つたが此際お互の迎春心得

としては大体昨紙列記の外

縣の實施方法として次の各

項が示され

(一) 各家庭に於ては早旦

最寄神社に參拜すること

(二) 當日午前九時を期し

「國民奉祝の時間」を設定

し各家庭其の他の場所に

於て夫々宮城道並萬歳同

奉唱を行ふこと市に於て

は「サイン」を以て周る

十五年度春肥の各町村割當

は二十六日開かれ、經濟更生